

2010年11月2日

各位

会社名 株式会社ココスジャパン
 代表者名 代表取締役 大坪 都志夫
 (JASDAQ・コード 9943)
 問合せ先 取締役管理本部長 高橋 利雄
 (TEL: 03-6833-8000)

2011年3月期第2四半期累計期間業績予想との差異、ならびに通期業績予想の修正
 に関するお知らせ

2010年5月11日に公表いたしました、2011年3月期第2四半期累計期間(2010年4月1日～2010年9月30日)の業績予想との差異、ならびに通期(2010年4月1日～2011年3月31日)の業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異

2011年3月期第2四半期個別累計期間業績予想との差異(2010年4月1日～2010年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	27,846	836	788	288	16.99円
今回実績 (B)	27,492	92	100	△92	△5.45円
増減額 (B-A)	△354	△744	△688	△380	—
増減率 (%)	△1.3	△88.9	△87.3	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2010年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

2. 業績予想の修正

2011年3月期通期個別業績予想の修正(2010年4月1日～2011年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	54,205	1,308	1,224	416	24.54円
今回修正予想 (B)	54,214	900	886	203	12.01円
増減額 (B-A)	9	△408	△338	△213	—
増減率 (%)	0.0	△31.2	△27.6	△51.0	—
(ご参考) 前期実績 13ヶ月 (2010年3月期)	55,518	1,104	1,083	185	10.93円

3. 2011年3月期第2四半期個別累計期間業績予想との差異の理由

当社は、前期の客数重視の営業施策の効果を活かしながら、売上高の確保による収益回復に取り組んでまいりました。売上高につきましては、6月に、主力商品であるココスビーフハンバーグステーキのお手軽な価格での提供を開始するとともに、テレビコマーシャルによる積極的な販売促進などを行った結果、既存店入客数前年比は前期の下半期 99.3%に対し、当上半期 104.8% (1Q : 101.2%、2Q : 108.1%)、既存店売上高前年比は前期の下半期 93.5%に対し、当上半期 99.4% (1Q : 97.0%、2Q : 101.6%) と、第2四半期累計期間の後半にかけて売上高が回復いたしました。が、予想の 101.0%には 1.6%届かず、前回予想を下回りました。営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、売上高の確保を目的とした施策に伴う販売促進費の増加、原価率の上昇、従業員教育費等の先行投資を費用計上したことによって、前回予想を下回りました。

4. 2011年3月期通期個別業績予想の修正の理由

売上高につきましては、既存店前年比が引き続き好調に推移していることに加え、主力商品であるココスビーフハンバーグステーキの品質向上や、販売促進等を行うことにより、当初予想を確保する見込みであります。営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、食材の仕入原価の改善、店舗作業におけるムダの排除や経費見直し等を徹底することにより、下半期の利益の最大化を見込んでおり、2011年3月期通期の業績予想を修正いたします。

当期の配当につきましては、当社は、株主各位に対する安定的な配当を継続することを基本方針としており、中間配当として1株につき12円、期末配当として12円、年間配当を24円とした、2010年5月11日公表の内容に変更はございません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上